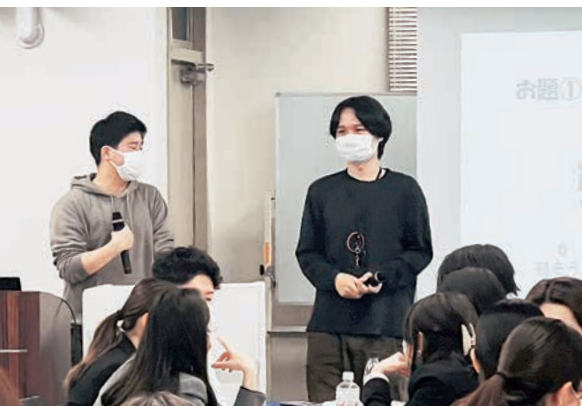


ひょうご

429

MIN-IREN

2026.5・6
合併号



未来を担う新しい力が結集!
いのちとくらしを支える仲間とともに
2026年度 新入職員研修会 開催

2026年4月10日(金)、三宮コンベンションセンターにて2026年度兵庫民医連新入職員研修会を開催しました。各法人から新入職員と期中入職者あわせて82名が参加し、1年目研修の獲得目標である「民医連綱領」について学びました。

午前中は兵庫民医連 仁田事務局長「兵庫民医連の概

要と歴史・ようこそ民医連へ」の講義を受け、午後からはグループに分かれて学びをもとに「民医連かるた」を作成しました。意見交換を重ねながら、世界にひとつだけのかかるたが完成。さらにジャンボリー交流企画も行い、大盛り上がり！参加者同士のつながりが深まりました。10月のフォローアップ研修での再会も楽しみです。



事業所・職場紹介

輝いています！

ヘルス企画に 夢がやってきました



有限会社ヘルス企画 代表取締役 吉川 知子

ヘルス企画は尼崎市内に調剤薬局を経営しています。尼崎生協病院の門前ではいちご薬局といちご薬局北店が肩を並べて処方箋に対応しています。阪神武庫川駅近くの本田診療所前にはつくし薬局、阪神出屋敷桜がきれいな蓬川近くにはナニワ診療所対応のさくらんぼ薬局、JR尼崎駅北側には潮江診療所近くにすみれ薬局、橋を渡ったらすぐ大阪市の尼崎市の東端に東尼崎診療所近くでかりん薬局と6店舗で地域の健康を守っています。



め、ヘルス企画では計画的に新人薬剤師を採用することができていませんでした。

「このままでは20年後薬局の存続が厳しい?!」そんな危機感を抱く中、2023年に1人、2026年4月に1人新人薬剤師が入職してくれました。久しぶりの新入職員への対応…「どんな書類を揃える?健診は?研修とか?」…あわてました。

いよいよ2026年4月1日、新入職員Nさんがやってきました。彼は3年前の新入職員Nさんと苗字が同じ(全く関係性のない二人)なので、4年目はチアキさん、今年入職はトムさんとしてお呼びしましょう。

これから二人の若手職員はどんな薬剤師になってくれるのでしょうか?

専門性を生かすことはもちろん、様々な困難事例について考えることができ、薬剤師だけでは解決できないことも多職種連携で解決していける薬剤師になってもらいたい…と切に願います。

2023年入職のチアキさんは2025年には全国ジャンボリーに参加し全国の若者と交流できました。いつかこの経験が生かされると信じます。

さあ、トムさんはどんな経験をするのでしょうか?「夢を叶える」彼の今後に期待が膨らみます。



調剤薬局では薬剤師確保も重要な課題です。退職者の補充で中途採用を行うことが多い

事業所の窓から～歴史と地域紹介～

尼崎医療生活協同組合

身近にある「平和」を探して

26

尼崎の平和モニュメントを巡ってみませんか？

尼崎市は世界の恒久平和を願い、昭和32年「世界平和都市宣言」、昭和60年「核兵器廃絶平和都市宣言」の宣言をしています。市内にはいくつもの「平和モニュメント」があり、市民の皆さんが気軽に訪れ、平和について考えるきっかけとなっています。今回はその一部を紹介させていただきます。

スタート地点は阪神尼崎駅より南へ徒歩5分の位置にある尼崎市役所開明庁舎（旧開明尋常小学校）です。2002年に小学校が閉校、その後、開明庁舎として生まれ変わり、現在ではカフェが併設され、展示会などのイベントも行われています。敷地内には平和モニュメント「Molter（モルター）」、「平和の女神像」があります。他にも南西の扉に、太平洋戦争時に米軍機による銃撃痕と伝えられる跡があったり、尼崎市内に現存する数少ない戦跡として残されています。ナニワ診療所から約2キロの場所にあります。



▲旧校庭



▲Molter



▲平和の女神像

次に元浜緑地にある「世界平和の鐘」です。世界平和の鐘は、世界では27カ所・日本国内では北海道稚内市・沖縄県石垣市・大阪市鶴見緑地内・滋賀県大津市



▲9条の碑

とここ尼崎市の5カ所にあります。尼崎の世界平和の鐘は2005年7月に国連加盟国106か国のコインやメダルで製造されたもので、戦争の悲惨さや平和の尊さを訴える平和のシンボルとなっています。元浜緑地は、尼崎緑化公園協会のさくらオススメスポットにもなっています。本田診療所から約1.5キロの場所にあります。



▲世界平和の鐘



▲元浜公園

ゴール地点は、昨年12月に完成した「9条の碑」です。尼崎医療生協あおぞら会館駐車場入り口に設置しています。“この碑は何だろう？”と足を止めて碑を眺める方もチラホラ。9条の碑が、憲法9条の理念を考えるきっかけになるように、尼崎の平和モニュメントとして認知されるように、平和活動につなげていきたいと思ひます。

新入職員研修スタート!~ようこそ!兵庫民医連へ~

4月10日(金)県連新入職員研修

県連新人研修では毎年グループワークにて「民医連かるた」を作成しています。新入職員力作のかるたを一部紹介いたします!新入職員の思いを込めたコメントにも注目してください。

研修プログラム

1. 県連教育委員・事務局員紹介
2. アイスブレイク
3. 兵庫民医連70周年動画の視聴
4. 講義「民医連の概要と兵庫民医連の歴史」仁田事務局長
5. 兵庫民医連制度教育について
6. 感想交流
7. 民医連かるたづくり
8. 全グループ発表
9. 兵庫民医連 青年ジャンボリーの紹介・交流企画



「世界平和」がテーマで「今日の講義を聞いて、今安心して暮らしていることの大切さを感じたし、みんなにも感じてほしい」

無差別平等をテーマに「どんな人も大切に、最後まで支える」ことを伝えたい

「絆」をテーマに「支え合い、助け合い、並走する」ということを伝えたい

民医連の「お金の心配をせずに受診できる権利を守る活動」を伝えたい

新入職員の皆さまへ 先輩職員からのメッセージ

2022年5月入職 4年目

神戸健康共和国(兵医協から出向中)
組織部 道上 拓史



3年前の2023年新入職員研修で「民医連とは」を学び、壁新聞を作成したことを思い出します。当時は分からないことばかりでした。皆さんも不安があると思いますが、その中で何か一つでも“共感”できるものを見つけてください。私は「戦争をさせない、平和を守る」に共感し働いています。皆さんとも、そうした思いを共有しながら活動していけたら嬉しいです。

困ったときは仲間を頼りながら、何より毎日を楽しんで頑張ってください。

2023年9月入職 3年目

兵庫県医療事業協同組合
セントラルキッチン事業部 栄養士 岡田 光紗



私が参加した2024年県連新人研修では民医連かるたを作成しました。グループテーマに沿って、同じグループの方達と話し合いながらとても良いかるたを作ることが出来ました。

その話し合いを行う中で何気ない声掛けや関わりが安心に繋がる事を知り、3年経った今では自信もつき自分の仕事にやりがいを感じる事が出来ています。

新入職員の皆さんも、これからの経験全てが必ず自分の力になります。焦らず、自分のペースで成長していきましょう。

各法人の新人研修 特徴的なとりくみ

健康チェックを経験!

神戸医療生活協同組合 職員教育委員会 野口 亘

4日間の研修では神戸医療生協の理念や歴史を中心に、医療介護の活動やメンタルヘルス・平和社保運動などを学び、フィールドワークでは共同組織の組合員さんの活動をじかに体験してもらいました。健康チェックや班活動、支部での配食サービスなどを体験しました。



秘密基地に潜入!?

姫路医療生活協同組合 職員育成委員会 井上 理華

入職辞令式後の事業所訪問では、普段は立ち入ることのない「歯科技工室」を見学しました。まるで秘密基地のような空間に、新入職員は興味津々です。

共立歯科には2名の歯科技工士が在籍しており、専門的な作業もやさしく、わかりやすく説明してくれました。歯科の裏側を楽しく学べる、思い出に残る貴重な体験となりました。



BLSで医療人としての第一歩!

医療法人神戸健康共和国 職員育成委員会 藤堂 主次

組合員宅への訪問(フィールドワーク)や救急対応(BLS)、東灘近隣の事業所見学などの実践的なプログラムも実施しました。新しい仲間たちの今後の活躍を期待し、全職場で温かく迎え入れます。



「現場で学ぶ」診療所訪問レポート!

尼崎医療生活協同組合 法人教育委員会 藏本 弘美

最終日に診療所訪問を行いました。今回は本田診療所・ナニワ診療所・長洲診療所・潮江診療所の4診療所にグループに分かれて訪問しました。普段聞くことのできない診療所ならではの活動や組合員さんの活動などを聞き、勉強になったと思います。訪問後は模造紙にまとめてプレゼンをしました。みんないきいきと楽しそうなお話が伝わりました。



生存権 No.187

無戸籍患者の 退院調整にみる生存権の課題

氏名：A氏
年齢：80代女性
夫との二人暮らしで
生活保護を受給している

兵庫民医連 ソーシャルワーカー委員会

約20年前、呼吸不全で救急搬送されたことを契機に、COPDおよび慢性心不全で通院されていた。外来通院時は在宅酸素を使用しながらも歩行は自立しており、特段の介護や支援を必要とする状態ではなかった。

しかし昨年の夏、自宅での食事中に食物を喉に詰まらせ、心肺停止となった。救急搬送先の高度急性期病院で心肺蘇生が行われ、一命は取り留めたもののその影響は大きく、当院へ転院時には意識状態にムラがあり、嚥下機能の低下から経管栄養が必要な状態であった。また、心肺蘇生による肋骨骨折の影響で移動は車いすとなり、以前とは大きく異なる状態であった。

当院転院後、多職種で連携し治療・リハビリを行ったが、A氏の全身状態は徐々に衰弱していった。自宅での自立した生活は困難と判断され、介護保険サービスの利用に向けた調整を進めることとなった。

しかし、介護保険課より「該当住所にA氏の居住が確認できないため申請できない」との連絡があった。生活保護を受給していたため、生活保護課へ確認したところ、「A氏は無戸籍である」との回答であった。

その後、生活保護課との調整により、介護保険に準じた調査・認定を実施してもらえることとなったが、結果が出るまでには時間を要した。また、生活保護受給中であることから、暫定プランでのサービス利用は控えるよう指示があり、ケアマネジャーとサービス内容について繰り返し検討を行った。

その過程で、無戸籍者に対する訪問サービスの提供の可否や、地域密着型サービスの利用の可否など、制度上の取り扱いの不明確さが課題として浮かび上がった。介護扶助による現物給付であっても、介護給付に準じたサービス提供が求められるため、戸籍や住民票がない場合、本人の存在を制度上どのように位置づけるのかという根本的な問題に直面した。

最終的にはサービス利用の許可が下りたものの、入院から数か月が経過し、A氏の衰弱は進行していた。医師および家族と相談のうえ、在宅での看取りの方針となり、退院後数日で自宅にて永眠された。

考察

本事例では、生活保護を受給していたことで必要な支援につながり、家族のもとで最期を迎えることができた。しかし、生活保護の受給がない無戸籍患者の場合、支援開始までにさらに時間を要することが予想される。

病状の進行により残された時間が限られる中で、申請から認定までの時間や、費用負担に関わる暫定対応のあり方、無戸籍者に対する制度上の位置づけの曖昧さなど、多くの課題が明らかとなった。制度に合わせざるを得ない現状の中で、「生きる権利」をいかに保障するのか、権利と制度の関係性について改めて考えさせられる事例であった。

全日本総会方針 学習月間

ニュース隔週で発行中! ~2026年6月末



読者の声

●生存権と、法人トピックスの連載が好きです。

ペンネーム ちい

●学運交ではもう十何年とお会いしていなかった組合員さんのご活躍を伺うことができました。ニュースで紹介されていた北区の文化も、同じく十何年前、組合員さんのガイドでウォーキングしたなあと思い出し、感慨深く感じました。

神戸医薬研究所 横田歩

●「今年、高校受験で志望校に合格して春休みに家族で帰省する」と笑顔でLINEがありました。孫と会えることが待ち遠しいです。

宝塚HSTひだまり 宮本秀子

●ボウリングを始めてもうすぐ2年になります。週1~2回の練習と週1回の試合を楽しんでいます。

HSTあほし 栗林由季

●初めて応募しました。前回の4-5面の学術運動交流集会は、多職種の多彩な取り組みに触れられる貴重な機会であり、あれもこれもと目移りしてしまう贅沢な悩みを覚えます。加えて記念講演も示唆に富み、今回は長崎県原水協代表理事・田中氏のお話、「へえー」とか「ほおー」とか感心しながら聴いていたので一回も寝る暇無く、終わった後も被爆者の思いを次の世代にどう伝えたいかを考えさせられました。

東神戸薬局 中野裕子

●花粉の季節。毎年ひどくなってる気がします。なんとかならないかなあ。

東神戸病院 山本浩介

●島根県出雲大社に行ってきました。

ペンネーム さくらんぼ

●花粉の時期になりました。目がかゆく、鼻水はスーとマスクの中で流れ落ちる。しばらく、憂鬱な気分での勤務です。

ペンネーム ちこ

●「家で暮らしたいという願いに寄り添い続けて」を読んでできることをどう伸ばすか・支援は暮らしを守るための味方である日々。どう伝えたらその人に寄り添えるか考える時。自然と行ってる事ですが、文章にしてあると感動しました。これからも、寄り添い続けます。

共立病院 福貴友見

●先日、友人と「アーモンドの花見」に出かけました。スモモは阪神淡路大震災復興10年目に植樹されたそうで、アンズや白・ピンクのアーモンドの木・花に癒されました。帰りのカフェでのおしゃべりも盛り上がり、power全開です!!お土産に購入したのも美味しかったです。

ペンネーム めめくん命

●3・4月号の生存権事例で、本人の意向を尊重した上で、多職種が専門的見解を伝えて変化をもたらした取り組みが響きました。「積み重ねる」って良い言葉だなあと感じました。

東神戸病院 黒瀬智子

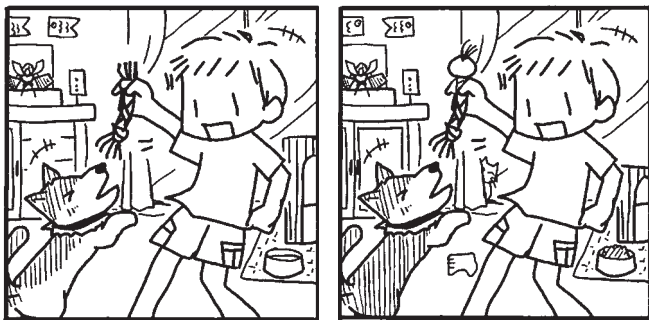
●孫が小学校を卒業します。2020年4月に入学してコロナ禍で入学式はなく、運動会なども制限を受けた小学校生活でした。これから先、平穏な学生生活が送れることを願います。

神戸医薬研究所OB 村川美和子

まちがいさがし 5・6月

正解者のうち5名の方に
図書カードを差し上げます。

まちがいは8つ



作・小田 求

【応募のきまり】

〈締切〉2026年6月3日(水) ◇当選者は2026年7・8月号に掲載。

〈応募〉1人1通。はがき又はEメールで。

氏名(投稿はペンネームでも可)、院所名(職場・職種)、OBの方は在職時の法人名を記入の上、下記へ送付して下さい。

〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目3-7
兵庫民医連ニュース「クイズ」係

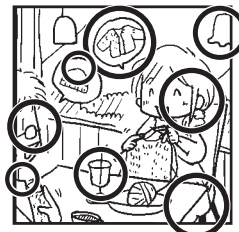
〈Eメール〉kikansi@hyogo-min.com

※余白に、①興味深かった記事と感想、②事業所での取り組み紹介、③近況、④ニュースへのご意見等、お書き下さい。

3・4月号の応募者は
14名で全員正解で
した。右記の5名の方に
図書カードを進呈。

- ① さくらんぼ (ペンネーム)
- ② 村川美和子 ((株)神戸医薬研究所OB)
- ③ 福貴 友見 (共立病院)
- ④ めめくん命 (ペンネーム)
- ⑤ 宮本 秀子 (ヘルパーステーションひだまり)

3・4月号
の答え



法人topics

姫路医療生活協同組合

連載コーナーです。

法人で“キラッと輝く”職員の、民医連で働き続ける理由や、こだわりを紹介します。

共立病院

永井 達也さん

病棟看護師



仕事でのこだわり



地域包括ケア病棟においても、医師、看護師、セラピスト、栄養士など多職種連携で治療にあたります。チーム一丸で患者さん一人ひとりに寄り添い、治療だけでなく、生活の質の向上にも目を向け、最良の

結果へ導くための環境を整えて対応することが大切です。

また、退院後の生活を見据えたご家族への介護指導や外部サービスとの連携も、地域で長く生活するための効果的で継続的なケアを実現する手立てと考えています。これからも知識の向上にも努め、患者さんがいち早く地域の生活につなげられるよう、看護師として支えていきたいです。

入職したきっかけ

前職では急性期病棟や外来、地域包括ケア病棟を経験しました。地域包括ケア病棟は地域に根ざした医療を展開し、地域の健康管理にとって今や欠かせない存在です。

私は、地域医療の重要性を鑑み、地域包括ケア病棟に特化した共立病院で、これまでの経験を活かしながら患者さんが地域で安心して生活できるようサポートしていきたいと思い入職しました。

プライベート

動画等視聴（YouTube・アニメ・映画）、国内旅行、料理（外食・自炊）、農作業（淡路島で友人の手伝い）、海釣り、ゲーム、読書、カメラ（一眼レフ）など多趣味です。

姫路医療生活協同組合

笑顔の花咲く「お花見マルシェ」

地域サービス部 藤木 祐弥

3月25日（水）、第27回生協マルシェを開催し、地域のみなさま・出展者など約100名にご来場いただきました。今回のテーマは「お花見」。いつもの野菜やパン・雑貨などに加え、近隣の和菓子屋さんが初出展。桜もちなどすぐに完売の人気ぶりでした。もちろん、他のブースも賑わい、笑顔の花があちらこちらで咲いていました。

屋内ステージでは3組の組合員さんがパフォーマンスを披露。まずは南京玉すだれで会場も一気に和みます。2組目のソプラノコンサートでは美しくあたたかい歌声に皆さんうっとり。最後のマジックショーも熟練の腕前に驚きの連続でした。

屋内別室では^{こてえ}鍔絵ギャラリーも開催。昨年11月の共立病院マルシェでつながり、機関紙「ひめじ」にも

ご登場いただいた組合員さんにたくさんの作品を披露していただきました。この日のためにわざわざ新作まで作っていただき感謝しました！

盛りだくさんの内容に、来場者からは「いつもと違う感じが楽しかった！」「ステージもすごく良かった」など好感触でした。

2020年7月に始まった生協マルシェは、地域のみなさまに支えられ、今では多くの方が楽しみにしてくださるイベントへと成長しました。これからも地域とのつながりを育み、気軽につどえる楽しい場をつくっていきます。



第27回生協マルシェ